

| 第2回 横浜市金沢公会堂指定管理者選定委員会 会議録 | |
|----------------------------|--|
| 日 時 | 令和5年9月6日(水) 午前9時00分～午前11時35分 |
| 開 催 場 所 | 金沢区役所6階2号会議室 |
| 出 席 者 | 中西委員長、赤江委員、鈴木委員、徳富委員、長谷川委員 |
| 欠 席 者 | なし |
| 開 催 形 態 | 公開(傍聴者:3名)※一部非公開 |
| 議 題 | 1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定審議 |
| 決 定 事 項 | 1 委員会の公開・非公開、面接審査の進め方、採点方法については、第1回指定管理者選定委員会で審議・決定した内容のとおりとする。 2 横浜市金沢公会堂の指定候補者、次点候補者を次のとおり選定する。 指定候補者:相鉄企業株式会社 次点候補者:株式会社不二テクノ 3 報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。 |
| 議 事 | 1 応募団体の面接審査 応募2団体について、15分間のプレゼンテーション後、20分程度の質疑応答を行った。 (1) 団体A(相鉄企業株式会社) (委員) 区民文化センターとの連携をふまえて公会堂に求められている機能をどのように捉えているか。また、求められる機能に対してどのように応えていくか聞かせてほしい。 (団体) 金沢公会堂を区民の文化活動を支える場として捉えている。弊社は他区で区民文化センターと公会堂の指定管理を行っているため、実績やノウハウを生かして両者の連携を強化し、文化活動の発表等を行いたい。 (委員) ピアノ等の温度や湿度の管理は問題ないか。 (団体) 保管庫があり、指定された温度及び湿度に設定して管理している。 (委員) 次期指定管理者として選定された場合には、どの部分を改善していきたいか。 (団体) コロナ禍で開催できなかった自主事業の開催に注力したい。 (委員) オンラインで講演を開催できるようにしてほしいという要望は利用者からあるか。 (団体) 利用者がオンライン会議を行った実績がある。 (委員) スポーツ観戦等でパブリックビューイングを実施することは可能か。 (団体) 過去に横浜市と連携してラグビーワールドカップのパブリックビューイングを行った実績がある。 (2) 団体B(株式会社不二テクノ) (委員) 様々な提案があるが、実現可能性についてどう考えているのか。 (団体) 公会堂単体の運営では困難な部分については、本部の担当とも連携し、横浜市や金沢区と連携して運営を行い、利用者の方々と意見協議会を開き、運営についてご意見や評価をいただきたい。大規模なイベントについて |

は、地域や学生のボランティアを募集して対応したい。

(委員) 意見協議会というものはすでに開催した実績があるのか。

(団体) 実績はないが、地域交流担当を配置し、商店街や町内会からの要望や意見を反映させたい。

(委員) 新しい試みが多く非常に魅力的ではあるが、システムの変更やイベント等の変更については人員が必要である。そこで、本当に実現可能かどうか、見通しを聞かせてほしい。

(団体) 弊社としては新しい試みが多いとは考えておらず、他の施設で実施済である。課題としてコストの問題があると考えているが、どの事業を優先させるかは利用者の方と対話しながら決めていく。イベント等の実施についてはスタッフ及び本社からの応援等で対応したいと考えている。

(委員) 区民文化センターと連携しての利用料金の割引等はとても魅力的だが、どのように実現していくのか。

(団体) 今後、区民文化センターの指定管理者と協議していきたい。

(委員) 予算書上では消費税が記載されていないように見える。また、スタッフの人数が少ないように見える。

(団体) 消費税については、再度計算する必要がある。スタッフの人数については、本社から維持管理部門の職員等が派遣される。

2 指定候補者の選定審議

応募団体は、現指定管理者である相鉄企業株式会社と横須賀市の横須賀市文化会館等の指定管理者である株式会社不二テクノの2団体だった。

評価基準項目に則り評価を行った結果、評点においていずれも最低基準（6割以上※加減点項目を除く）を満たしたことから、指定候補者に相鉄企業株式会社を、次点候補者に株式会社不二テクノを選定した。

<採点の集計結果>

| 団体名 | 評点（合計） |
|-----------|--------|
| 相鉄企業株式会社 | 636点 |
| 株式会社不二テクノ | 582点 |

<委員からの審査講評>

相鉄企業株式会社については、本施設の現在の指定管理者であり、これまでの実績をもとに安定した施設運営が期待できることに加え、新たな自主事業の提案や区の特性を理解した事業計画、地域との連携・応援を目的とした「共創」を新たなコンセプトとして地域密着を掲げた点が高く評価できる。

株式会社不二テクノについては、キャッシュレス決済やオンライン仮予約システムの導入など新たに実施する内容が多く、意欲的な提案であることが評価できる。

一方で、相鉄企業株式会社については、手堅い計画ではあるが現状維持の印象が強く、株式会社不二テクノについては、新たな提案内容の実施に関して具体性が不足しているとともに、実施するための運営体制に不安な部分があり、実現可能性が低いことが懸念される。

| | |
|---------|---|
| 資料・特記事項 | <p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 第2回横浜市金沢公会堂指定管理者選定委員会スケジュール(2) 第1回横浜市金沢公会堂指定管理者選定委員会会議録(3) 評点表(4) 応募書類(5) 応募団体との利害関係に関する確認書 <p>2 特記事項</p> <p>なし</p> |
|---------|---|